

健康診断に役立つコラム ～胸部マルチスライス CT 検査～

1 cm に満たない小さな肺がんや、心臓・血管・肋骨や鎖骨と重なった部位に存在する肺がんを、胸部 X 線写真で見つけるのは困難なことが多く、早期発見には CT 検査が有用です。また、CT は COPD（慢性閉塞性肺疾患）や縦隔腫瘍の早期診断にも有用です。当センターでは、最新のマルチスライス CT を導入し、被ばく量の少ない低線量方式で撮影しています。

次のような方にお勧めします。

- ・ 現在喫煙している、または、過去に喫煙していた
- ・ 20 歳未満から喫煙してきた
- ・ 受動喫煙の心配がある
- ・ 血縁に肺がんの人がいる
- ・ 大気汚染の進んでいる所に住んでいる
- ・ 有害化学物質を取り扱ってきた
- ・ 過去に仕事でアスベストを扱った可能性がある

肺がんは、男性のがん死亡原因の第一位、女性でも二位です。がんの中での死亡率がトップクラスに高く、悪性度も高いがんです。喫煙期間や喫煙量に比例して肺がん罹患率が上がることは良く知られています。国立がんセンターの研究によると、たばこ吸わない人に比べて、たばこを吸う人は男性では 4.5 倍、女性では 4.2 倍肺がんになりやすいそうです。初期の肺がんは自覚症状がほとんどなく、早期発見が容易ではありません。よって、定期的な検診で早期発見に努めることが大切になります。肺がんの発症は、40 代後半から増加します。働き盛りの年代で、肺がんで命を落とすようなことにならないためにも、定期的な検診を受けることをお勧めします。